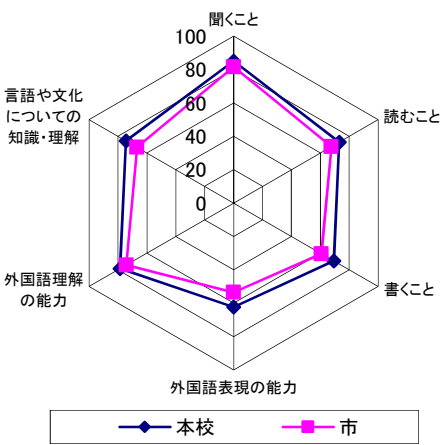


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	85.1	81.7	75.3
	読むこと	73.1	67.7	62.9
	書くこと	69.3	60.7	52.8
観点別	外国語表現の能力	62.3	53.5	44.8
	外国語理解の能力	78.5	74.2	67.8
	言語や文化についての知識・理解	74.4	66.8	63.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率は、どの問題においても宇都宮市の正答率より高い。 ○聞き取った英文の内容について、答えとなる絵や応答文を選んだり、要点をまとめたりする問題に関しては正答率が高い。 ●聞き取った英文の内容について、資料を活用して英語で答える問題においては、正答率がかなり低かった。	・英文を聞き取る機会を増やし、資料を活用するような発展的な聞き取り問題にも慣れる必要があると考えられる。
読むこと	平均正答率は、どの問題においても宇都宮市の正答率より高い。 ○長文の内容を把握した上で代名詞の示す語句を理解するなど、内容をしっかり読み取ることができた生徒が大半だった。 ●本文の内容をふまえ、話の流れに沿った英文を書くといった活用の問題で、正答率が30%と低い結果となった。	・長文を読み、適語を入れたり代名詞の示す内容を答えるだけでなく、話の流れを掴む必要がある。そのためには、「読むこと」だけでなく、「話すこと」や「聞くこと」にも力を注いでいくことで、語彙力の強化につながっていくと考えられる。
書くこと	平均正答率は、どの問題においても宇都宮市の正答率より高い。 ○自由英作文において、自分の考えや意見を3文以上の英文で答える問題は、約75%の生徒が書くことができた。 ●対話の流れに合った英文を書く問題では、正答率が50%以下で低かった。	・「書くこと」という分野において、なかなか点数に結びつかない生徒たちの共通点としていえるのが、「曖昧な覚え方しかしていない」という点が挙げられる。適切な英単語を答える問題でそれほど正答率が高くないところを見ても分かるように、語彙力の低さが伺える。単語はしっかり「読める」「書ける」「発音できる」を徹底していく必要があると考えられる。